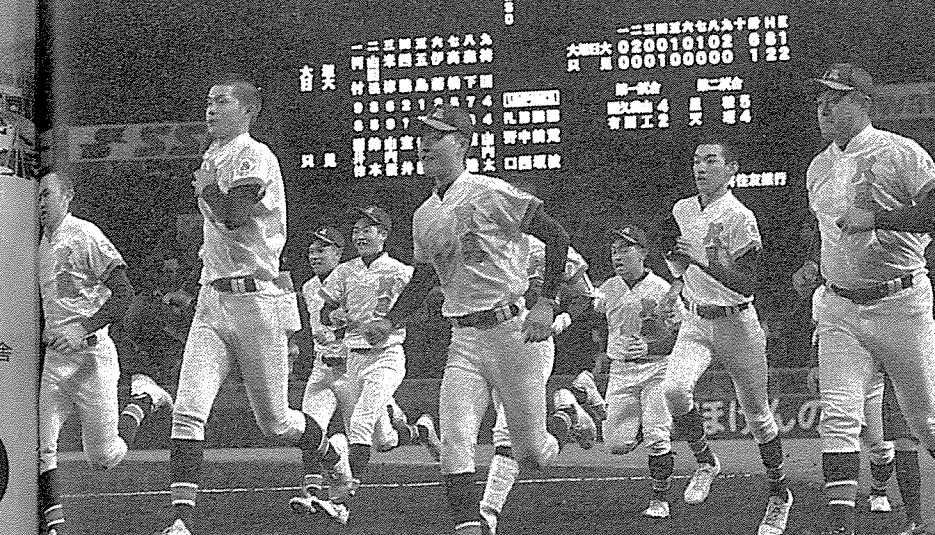


いまや進学は全国区



只見の校舎



都道府県の枠を越えて過疎地の高校へ進学する「高校留学」の数が増えている。自治体の支援で高校の魅力化を図り生徒の全国募集をする動きと、自立や環境の変化を求める生徒のニーズがマッチした結果なのか。来年度入学の募集が本格化する今、現状を報告する。

2022年センバツに出席した只見のナイン

ジャーナリスト 川井龍介

広がる地方への高校留学は正解か!?

海に近い高台に立つ隠岐島前

これらの学校の特色の一つは、地域を学習や課外活動のフィールドとする仕組みを持つていることだ。地場産業や地元の事業所の協力を得て、社会の現場に入り込んでいく。地域との連携で学校の魅力化と全国募集で実績を上げている宮崎県立飯野（えびの市）は普通科、生活文化科の二つ

われる「世話役」や保護者代わりの「まち親」や「島親」といった人がつく。住居費は条件によってさまざまだが、個室の寮では月額3万円前後で食事も提供されるところもある。

宮城県で初めて全国募集を始めた県立南三陸（南三陸町）では、震災復興に從事する人が使用していた宿舎を移築して寮に改修し、

生徒はまちづくり事業へも参加する。ドイツへの研修制度があり国際交流にも力を入れている。全校生徒1

個室にはユニットバス、エアコン、テレビ、冷蔵庫、電子レンジも完備する。また、生徒の半数が学校のある島根県川本町の外からという県立島根中央は、閉校になつた小学校をリノベーションして寮にしている。

このほか元旅館や公営住宅を改装して寮にするなど、地元の「遊休資産」の活用を兼ねた例もある。

自治体の支援で「公営塾」整備も

の学科があるが、就職や進学を問わず、いずれも卒業後進路を見据えた上で、学習の中に地域社会との関わりを持たせている。これまでに北海道、東京、神奈川、兵庫、沖縄などから生徒が集まり、生徒230人のうち24人が県外出身だ。普通科の総合コースでは1年間のキャリア実習を行い、同じく探求コースでは地域の中に課題や可能性を

わられる「世話役」や保護者代わりの「まち親」や「島親」といった人がつく。住居費は条件によってさまざまだが、個室の寮では月額3万円前後で食事も提供されるところもある。

宮城県で初めて全国募集を始めた県立南三陸（南三陸町）では、震災復興に從事する人が使用していた宿舎を移築して寮に改修し、

生徒はまちづくり事業へも参加する。ドイツへの研修制度があり国際交流にも力を入れている。全校生徒1

個室にはユニットバス、エアコン、テレビ、冷蔵庫、電子レンジも完備する。また、生徒の半数が学校のある島根県川本町の外からという県立島根中央は、閉校になつた小学校をリノベーションして寮にしている。

このほか元旅館や公営住宅を改装して寮にするなど、地元の「遊休資産」の活用を兼ねた例もある。

福島県の奥会津地方にある県立只見（生徒数89人）は、減少する生徒数に危機感をおぼえ、22年前から積極的に若者を呼び込もうと、「山村教育留学制度」を設け、町と高校の魅力をアピール、広く只見町外から生徒を募ってきた。その甲斐あって現在は21人が町外からの生徒だ。学校の活性化も実を結んだのか、野球部は2021年の秋の県大会で春夏通じて初の8強入りを果たし、昨春の選抜高校野球では21世紀枠で甲子園にも初出場した。

同じく、地元の地方自治体の支援で「山村留学」制度を設けてきたのが、岩手県葛巻町の県立葛巻だ。酪農、ワイン、クリーンエネルギーという町の魅力や課題を学習の中に取り込み、生徒はまちづくり事業へも参加する。ドイツへの研修制度があり国際交流にも力を入れている。全校生徒1

38人のうち半数強が町外からの生徒だ。

両校のように地元自治体の支援を受け、全国から生徒を募っている公立高校は近年増えつつあり、北海道から沖縄まで合わせて百数十校に上っている。高校生

十校に上っている。高校生

38人

福島県の奥会津地方にある県立只見（生徒数89人）は、減少する生徒数に危機感をおぼえ、22年前から積極的に若者を呼び込もうと、「山村教育留学制度」を設け、町と高校の魅力をアピール、広く只見町外から生徒を募ってきた。その甲斐あって現在は21人が町外からの生徒だ。学校の活性化も実を結んだのか、野球部は2021年の秋の県大会で春夏通じて初の8強入りを果たし、昨春の選抜高校野球では21世紀枠で甲子園にも初出場した。

同じく、地元の地方自治体の支援で「山村留学」制度を設けてきたのが、岩手県葛巻町の県立葛巻だ。酪農、ワイン、クリーンエネルギーという町の魅力や課題を学習の中に取り込み、生徒はまちづくり事業へも参加する。ドイツへの研修制度があり国際交流にも力を入れている。全校生徒1

38人のうち半数強が町外からの生徒だ。

38人

魅力と合わせて学校の魅力を外部にアピール。一方、留学する生徒の側は、自然環境や少人数での教育、地元を離れて自立することへの憧れや環境の変化を求める気持ちがある。

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された。

同校をはじめ、全国募集をする学校のほとんどが過疎地に位置する小規模校で、地域の活性化を目的とする地元市町村の支援を受けている。地元では地域の

38人

学校で学習したかった」「中学まではあまり学校に行けなかつたので、環境を

行けなかつたので、環境を

38人

「自然に惹かれた」「海が好きだから」「海外研修に行けるから」「落ち着いた中ノ島にある県立隠岐島前（海士町）が有名だ。同

校では10年ほど前までは1学年1クラスと存続の危機

38人

迎えていたが、全国から生徒が入学するようになり2クラスが復活。全国的に過疎地の高校が生徒減のため統廃合されていく流れの中において、画期的な成果として注目された

